学校番号	T1206

令和８年度　国語

教科	国語	科目	(通)(学)国語演習	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この授業は８時間のｽｸｰﾘﾝｸﾞと８枚の課題で２単位分の授業となる通信科目です。
・その内５時間のｽｸｰﾘﾝｸﾞと８枚の課題提出が必須となります。
・話をまとめる練習として、短い物語の要約を起承転結に分けて書きます。
・漢字、品詞、語彙、読解に関してのプリントを自分で解いたうえで答え合わせを行います。
・授業の終わりにその日に学んだ範囲の課題を渡します。提出期限を守って提出しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

漢字、品詞、語彙、読解力問題など、国語の基礎を主として学び、日常生活で使用する国語力を向上させることができる。

【思考力、判断力、表現力等】

要約・作文において表現を身につけ、読み手を意識した文章の作成をすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】

自他の表現を理解、比較する中で言葉の大切さに気付き、日常生活の言葉を意識して使用することができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	言葉のもつ特徴や面白さに気づき、そこから熟語の意味や文章表現へと発展させて日常的に使える語彙力を身につけている。	言葉の意味を理解したうえで文章の作成をし、多岐にわたる表現を身につけている。要約において文章の主軸を捉え、自らの言葉として元の文章から短くまとめることができている。	表現し理解するという行為の大切さ素晴らしさに気づき、他者と同時に自分自身を理解するための手段としての言葉(日本語)への意識、関心を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期1～8回	国語の基礎を学ぶ ［教材］ ・速読要約プリント(7 枚) 『スイミー』レオ＝レオーニ 『犬の王様(一部)』夢野久作 『どんぐりと山猫(一部)』宮沢賢治 『ごんぎつね(一部)』新見南吉 『トロッコ(一部)』芥川龍之介 『おかばさま』星新一 『変身(一部)』カフカ ・語彙読解プリント(8 枚) ・課題プリント(8 枚)	a:学んだ漢字や語彙、品詞などを元に国語の基礎的な問いに答えることができる。 b:(読)物語を読み、自らの言葉で起承転結に合わせた要約をすることができる。 c:学習の中で得た知識を使い、主体的にプリントの問いに答えることができる。	定期考査 語彙読解プリント	速読要約プリント	課題プリント 感想

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価基準〔b〕について…括弧内には〔 話/聞、書、読〕のどれか一つを記入して下さい。

※各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　0　）時間

・書くこと　…　（　3　）時間

・読むこと　…　（　5　）時間